

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上の取組 ～城田中スタンダードの構築～

伊勢市立城田中学校

課題 他者との関わりの中で、自分の学習や生活を見直し、生き方を高めていく

- ・校区内の小学校は1校のみの小規模校で、義務教育9年間を同じ仲間と過ごす。
- ・安心して学校生活を送る一方で、学習集団が固定化しがち
→切磋琢磨が難しく、多様な見方や考え方が出にくい、社会性やコミュニケーション力が育ちにくい。
→全教科で課題、学習意欲・家庭学習時間・スマホの時間なども課題（H26 全国学力・学習状況調査）

取組① 少人数指導の実施や、言語活動、ノート指導等の学習活動の充実

- ・1・2年生の数学はクラスを2グループ、3年生の数学と1年生の英語はTTによる指導
- ・ペアやグループ学習の活用、思考力や表現力を育成する言語活動、ノート指導や振り返る活動の充実
ex①：時間や字数を設定した課題作文学習を定期的に重ね添削したり模範解答を提示したりする取組
ex②：漢字ノート指導 右頁で何度も練習⇒左頁で確認（覚えてない漢字には印、何度も練習）
※漢字練習したノートは試験後の提出物と一緒に提出させ、取組状況や定着度合いを確認
ex③：国語の毎授業で漢字熟語・類義語・対義語作りの9マスビンゴの取組→小テストで定着を確認
既習漢字や対義語等の長期休業明け確認テストでの定着の徹底
※単調な取組にならないよう、さまざまな手法を取り入れた工夫を盛り込み、継続した取組に！

取組② 休み時間、放課後、長期休業期間の学習支援

生徒の主体性を重視しながら、興味・関心を引き出すことで、授業に好影響

- ・休み時間：生徒からの質問に対応、国語や英語の暗唱テストの再チャレンジ（定着の徹底）
- ・放課後1：授業中の課題が不合格の生徒や宿題が未提出の生徒への学習補助
- ・放課後2：ALTによる放課後英会話教室 →英語力向上の方向性を見据え、日常的会話を重視
参加対象：3年生中心の希望者（テーマ例：What do you want to be in the future?）
水・金曜日の50分間、16回予定、英会話の時間中はオールイングリッシュ
- ・長期休業期間：希望者対象の補習（夏季休業期間は4日間、1日4講座、1講座50分）

取組③ 家庭学習の習慣化に向けて

●「学習計画表」の全校統一様式を独自に作成、活用

- ・年間6回の定期テストに加えて、実力テスト、春・夏・冬の長期休業でも実施し、習慣化を図る。
- ・担任が取組状況を確認し、生徒に応じて時間設定や学び方の工夫等についてきめ細かくコメントを記入 → 家庭学習の量だけではなく、質の改善も図る。
- ・良い計画や実践、生徒の反省、保護者のコメントなどを学級通信で紹介 → 好事例の広がり

◆「学習計画表」（全校統一様式）A3サイズ見開き

【1ページ目】

- ◇生活目標、学習目標
- ◇平日の予定・休日の予定 ※1日のタイムスケジュールを帯グラフ状に色分け
- ◇学習の予定・当日実際にできた主な学習内容 ※1日単位で、学習予定と実際に行った学習内容を記入

【2ページ目】

- ◇平日の家庭学習を始める時刻、夜寝る時刻、朝起きる時刻
- ◇がんばること、がまんすること
- ◇1週間の目標学習時間、休みの日の目標学習時間、テストまでの総目標学習時間
- ◇実施期間中、毎日の学習時間（実績） ※実施期間中2回、保護者確認印
- ◇実施期間中の総学習時間（実績）
- ◇反省 ※生徒が、生活面・学習面を振り返って文章で記入する。
- ◇保護者の方より ※保護者が、生徒へのメッセージを記入する。

【表紙】【裏表紙】

- テーマ（例 ～夏休みの学習成果を發揮せよ！不得意科目・不得意分野の克服ができたか？～）
- 学校確認欄 ※計画段階、中間、最終で3回提出し、各担任が確認
- 教科ごとのテスト範囲、提出物・提出期限、テストの時間割を示す

●宿題の出し方（教職員間で統一）

- ・毎日一定量の宿題となるよう、各教科間で毎日確認し情報を共有（「三重の学-Viva!!セット」も活用）
- ・基礎的・基本的内容＋知識活用内容（目的に応じ文章内容をまとめる、理由を説明するなど）
- ・課題として多く設定し計画的に提供することで、必然的に学習の機会を増やす。
- ・「教科書を5回読む」などではなく、プリントなど取り組んだ内容が見える形で残るものを設定
- ・「家庭学習の手引き」を教科別で作成し、保護者に配付

取組④ 日常的な学校からの情報発信による、保護者と共有・連携した取組へ

- ・校長の日常的な授業参観 → 授業者に対して生徒の学習活動や教員の指導の良い点等を伝える。
- ・生徒の意欲的な活動、主体的な学びにつながっている特色ある授業を、定期的に「学校ホームページトピックス」にて掲載 → 保護者等の学校への関心を引き出すことにつながっている。
- ・全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの調査結果、分析結果等を数値も含めて公表

<p>受験部の活動がスタートしています！◇3年生</p> <p>2016/11/14</p> <p>11月14日(月) 文化祭の代休明けの11月2日(水)から、「受験部」の活動が始まっています。</p> <p>本校では、例年この時期に、3年生の希望者を対象とした「受験部」が組織されます。高校入試に向けた生徒たちの主体的な学習を応援する取組の一つです。</p> <p>活動は、入試スケジュールに合わせて、3期に分けて実施されます。 今回は、その第1期。 3年生52人中、28人が活動に取り組んでいます。</p> <p>努力に勝る力なし。 退部しないように、頑張らしましょう！</p> <p>◆「アクティブ・ステーション」(受験部の活動拠点：3階廊下)</p> <p><掲示物> 3年生の教室がある3階の廊下には、次のような掲示物が貼られています。 ◇受験部専用 関係者以外は禁止 ◇今回の参加をお待ちしています。 ◇受験部のみならず、 ・前日の課題は、1限目終了時点までに提出しましょう。 ・必ず答えあわせをしましょう！ ・提出忘れは2回で退部なので注意しましょう。</p> <p><ボックス> 掲示物の前には、5つのボックス(かご)が置いてあり、次のような貼り紙がしてあります。 ◇受験部 提出箱 ◇今回の解答 忘れずに持っていきましょう！ ◇受験部 次の課題</p>	<p>数学の授業◇2年A組/3限目</p> <p>2016/11/08</p> <p>11月8日(火) 2年A組の3限目は、数学の授業でした。 黒板には、本時のめあてが書かれていました。</p> <p>◆本時のめあて 根拠が何かを意識し、角の大きさを求める方法を考える</p> <p>また、「今日使う根拠」として、次の4つの定理も示されていました。</p> <p>①2直線が平行ならば、同位角は等しい。 ②2直線が平行ならば、錯角は等しい。 ③三角形の内角の和は180°。 ④三角形の外角は、となり合わない2つの内角の和に等しい。</p> <p>生徒たちは、2本の平行線とそれらの間に「K」の字に引かれた線分との間の角を求める問題を解きました。その際、4つの根拠(定理)を手がかりとして考えました。</p> <p>解答の発表では、田村先生の指導により、根拠を明確にして論理的に説明するようしていました。また、根拠の組み合わせ方によって、1つの問題でも複数の解答方法があることも学習しました。</p> 
--	--

成果 全国学力・学習状況調査を活用し、全教科で改善

<教科に関する調査>全国平均との差が年度ごとに改善

H25：全教科下回る→H28：全教科上回る

<平成28年度の結果を平成25年度の小学校6年時の結果と比較>

全国平均との差が、全教科で改善

<生徒質問紙調査>※数値は左から H26・H27・H28 の割合

◆学習意欲 数学の勉強は大切：65.3/81.4/90.4

◆学習習慣 家で1日2時間以上

平日：22.4/27.2/38.4 土日：30.6/27.2/46.2

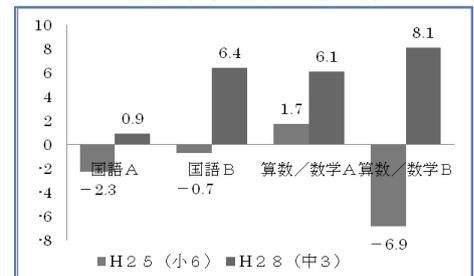
◆基本的生活習慣 同時刻の就寝：71.4/72.9/86.5 同時刻の起床：93.9/94.9/98.1

◆指導方法 目標提示：59.1/56.0/90.4 振り返る活動：40.8/52.5/77.0

◆自尊意識 失敗を恐れず挑戦：67.3/81.3/84.6 良いところがある：71.4/72.9/86.5

◆規範意識 人の役に立つ人間になりたい：93.9/93.2/100

H28(中3)結果とH25(小6)結果との比較
※全国の平均正答率との差で比較



今後 「城田中スタンダード」の構築と実践により、生徒の生き方を高めていく

●今後の主な課題

- ・全国学力・学習状況調査結果に見られる課題
予習・復習の習慣、早寝・早起きの習慣、テレビやインターネットの利用時間など
- ・安定的な学力の保障、学力の二極化への対応、教職員の異動に影響されない継続した取組等の課題

●今後の方策

- ・実施してきた教育指導の改善方策「城田中スタンダードvol. 1」の取組を今後も継続的に実施
- ・新たな視点を取り入れた見直し・改善による、「城田中スタンダード」の不断の再構築